

# 海面漁業生産統計について

平成28年1月21日

農林水産省

# 目次

- 1 水産業に関する統計体系と海面漁業生産統計の位置付け
  - ① 水産業に関する統計体系
  - ② 海面漁業生産統計調査の概要
  - ③ 海面漁業生産統計調査の特徴
  
- 2 漁業経営体数に係る調査事項の簡素化に伴う対応状況  
(前回統計審議会答申(平成18年3月10日)への対応状況)
  - ① 本調査の調査範囲の見直しに対する評価
  - ② 漁業センサスの中間年における標本調査の標本設計、推計方法等
  - ③ 水揚量の把握漏れや重複計上等を防止するために講じている措置

# 1 水産業に関する統計体系と海面漁業生産統計の位置付け

## ① 水産業に関する統計体系

### ○ 水産業に関する統計体系

- ・ 水産業の基本構造(経営体数等) : 漁業センサス、漁業就業動向調査
- ・ 漁業経営収支 : 漁業経営調査
- ・ 漁業生産量 : 海面漁業生産統計調査、内水面漁業生産統計調査  
(生産額は生産量を元に推計)
- ・ 水産物流通・加工品の生産量 : 食品流通段階別価格形成調査、水産物流通調査

### <調査年>

2008年(H20)

2009年

2010年

2011年

2012年

2013年(H25)

基本構造(経営体数等)

漁業センサス

漁業就業動向調査(一般統計)

漁業センサス

漁業経営収支

漁業経営調査(一般統計)

漁業生産量

海面漁業生産統計調査(基幹統計)

内水面漁業生産統計調査(一般統計) 注:内水面とは、河川・湖沼

水産物 流通・加工品の生産量

食品流通段階別価格形成調査(一般統計)、水産物流通調査(一般統計)

### <調査対象数>

漁業センサス ・漁業センサスの海面漁業の基本調査区 6,479調査区  
 ・海面漁業経営体 約 94,500経営体

漁業就業動向調査

・個人経営体 441調査区  
 ・団体経営体 562経営体  
 (約1割を抽出し調査)

海面漁業生産統計調査

・行政資料 823経営体分  
 ・水揚機関調査 2,074機関  
 ・経営体調査等 1,026経営体等  
 (水揚機関等で把握できないもの)  
 計 3,923客体

内水面漁業生産統計調査

・水揚機関調査 約 1,000機関  
 ・経営体調査 約 1,500経営体  
 計 約 2,500客体

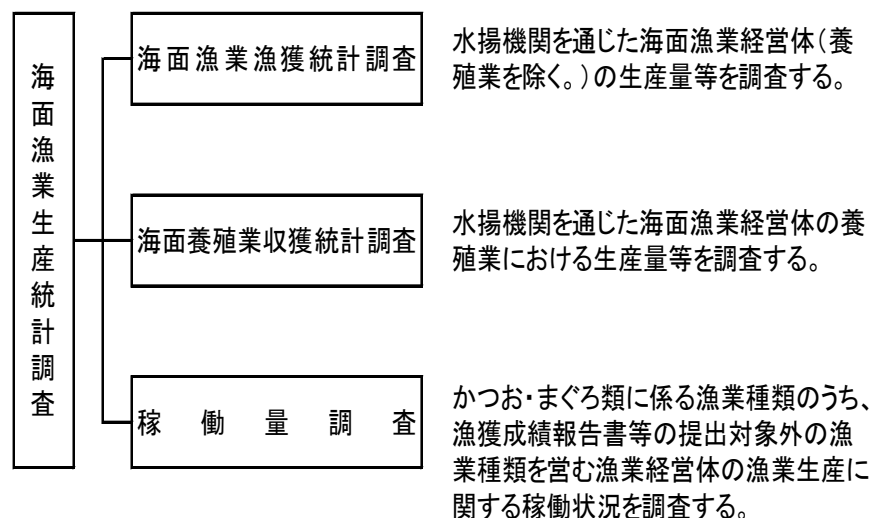
## ② 海面漁業生産統計調査の概要

○ 目的： 海面漁業の生産に関する実態を明らかにし、水産行政の基礎資料を整備すること。

### <調査の沿革>

- ・昭和25年までは表式調査による漁獲量(漁業生産量)の把握を実施
- ・昭和28年：別途行われていた海面養殖業に係る調査を吸収
- ・昭和39年：水産行政利用に対応するため、属地統計(水揚港の県等に計上)から属人統計(居住県等に計上)へ転換
- ・昭和48年：「海面漁業生産統計調査」に改称
- ・平成14年：漁業動態調査(漁業経営体)の調査事項を含んだ「稼働量調査」を新設等
- ・平成19年：調査方法・調査事項の見直し、統計調査員化等を実施(見直し内容：主な調査対象を漁業経営体から漁業経営体毎の生産量が把握できる水揚機関へ変更、稼働量調査については、調査対象とする漁業種類を限定等)

### <調査の体系>



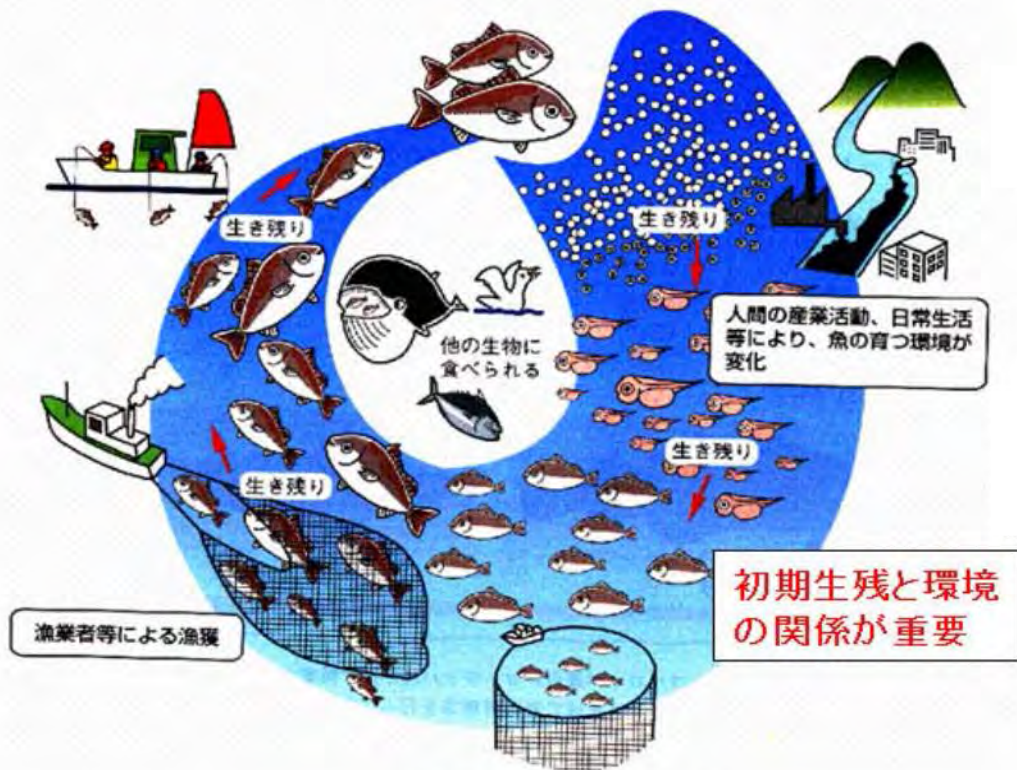
### <主な利活用>

- 政策目標算定のための基礎資料
  - ・ 国が、「水産基本法」に基づき定める「水産基本計画」において水産物の自給率及び持続的生産目標を定めるための基礎資料 (例：平成34年魚介類の自給率目標 70%(平成22年 60%))
- 水産資源管理のための基礎資料
  - ・ 国が、水産資源管理を行うため基礎資料(特定魚種(まいわし等)の漁獲量の上限(TAC)を定めるため等に利用。)
  - ・ 国が、国際的な水産資源管理機関に「くろまぐろ」等の水産資源管理の報告を行うための基礎資料
- 国際機関への協力及び義務
  - ・ 「経済統計に関する国際条約」に基づき、国際連合食糧農業機関(FAO)へ魚種別生産量を報告し、「世界漁業・養殖業白書(SOFIA)」に掲載
  - ・ 「中西部太平洋マグロ類条約」等に基づき、まぐろ類の水産資源の評価のための生産量等を提出

### ③ 海面漁業生産統計調査の特徴

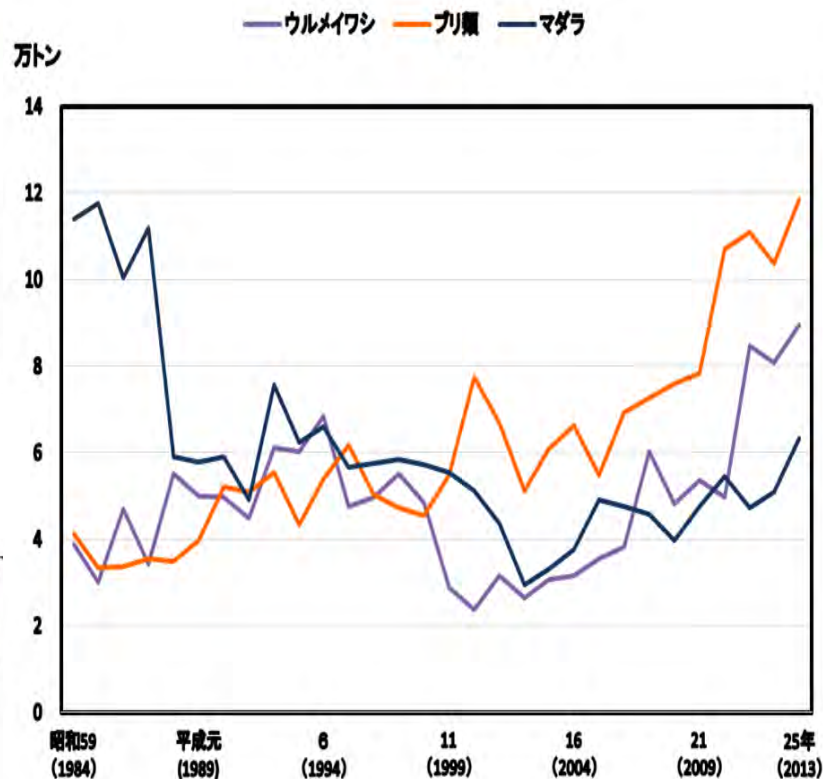
- 海面漁業は、水産資源量及び漁業生産量の年変動が大きいことから、全数調査により把握。
- 一方、海面漁業の経営体は、約 94,500経営体に及ぶことから、生産量の大宗を把握することが可能な漁業協同組合、産地市場などの水揚機関(平成25年 2,074機関)で調査することにより、効率的な調査を実施。

#### <資源変動の大きい水産資源>



水産庁漁業白書より

#### <大きく変動する海面漁業生産量>



水産庁漁業白書より

## 2 漁業経営体数に係る調査事項の簡素化に伴う対応状況

### ① 本調査の調査範囲の見直しに対する評価

- 海面漁業生産統計調査の「稼働量調査」による漁業経営体数等の全数把握は、平成18年で終了。
- 5年ごとの「漁業センサス」で漁業種類別、漁船の規模別漁業経営体数等を適切に把握。
- 漁業センサス中間年(平成19年を含む。)の漁業経営体数については、「漁業就業動向調査」で標本調査により把握・公表。

#### ＜漁業経営体に関する調査の変遷＞

	～平成13年	平成14年～18年	平成19年～
基幹統計	1998年(平成10年)漁業センサス	2003年 漁業センサス	2008年、2013年漁業センサス
一般統計 漁業センサス 中間年	漁業動態調査 ①漁業就業動向等調査  ②漁業経営体調査(漁業経営体数)	漁業就業動向等調査(～平成15年) ↳ 漁業就業動向調査(平成16年～)	漁業就業動向調査 (漁業就業者数、漁業経営体数)
基幹統計 (毎年)	海面漁業生産統計調査 ①漁業・養殖業生産量等 ②漁労体数(漁船数)、出漁日数等	海面漁業生産統計調査 ①漁業・養殖業生産量 ②稼働量調査(漁業経営体数等)	海面漁業生産統計調査 ①漁業・養殖業生産量 ②稼働量調査(沿岸まぐる漁業等に限定)

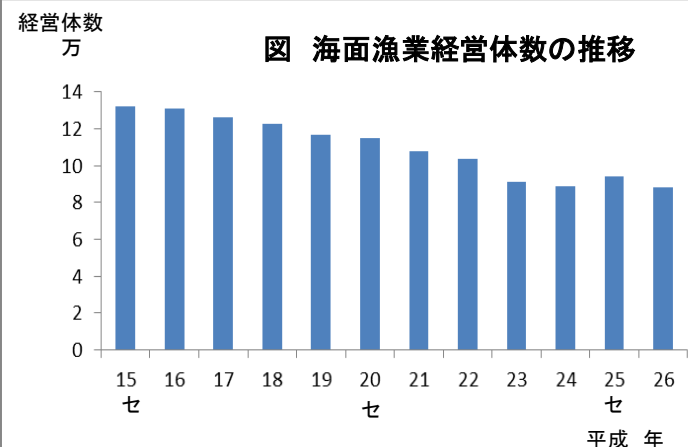
平成18年3月10日付け統審議第4号「諮問第306号の  
答申海面漁業生産統計調査の改正について」(抜粋)

#### ＜今後の検討課題＞

漁業に関する統計の体系的整備及び統計需要への的確な対応を図る観点から、基本的な事項に関する統計が継続的に整備されるよう、次のことについて検討する必要がある。

- (1) 漁業種類別、規模別等の漁業経営体数について、5年ごとに実施する漁業センサスにおいて把握すること。
- (2) 最も基本的な漁業経営体数に係る事項について、漁業センサスの中間年において標本調査により把握すること。

なお、上記(2)の標本調査については、統計の時系列を確保する観点から、平成19年度から実施することが適当である。



注:平成23、24年は、岩手、宮城、福島県の経営体を除く。

## ② 漁業センサス中間年における標本調査の標本設計、推計方法等

- 全国の経営体数等は、「漁業センサス(5年ごと。悉皆調査。)」と「漁業就業動向調査(漁業センサス中間年。標本調査。)」で把握。

### <漁業就業動向調査>

#### 標本設計の考え方

1. 個人経営体の標本設計については、2013年漁業センサスの基本調査区を母集団とし、漁業就業者数を指標として、目標精度全国 3.0%で設計



[ 実績:漁業センサスの基本調査区 6,479調査区 ⇒ 標本調査区数 441 ]

2. 団体経営体の標本設計については、基本調査区内において出現率が低いため、2013年漁業センサスの団体経営体を母集団とし、雇用者数を指標として、目標精度全国 2.0%で設計



[ 実績:漁業センサスの団体経営体数 5,033経営体 ⇒ 標本経営体数 562 ]

#### 集計方法

漁業センサス結果を用いた比推定により算出

#### 実績精度

漁業就業者数計(全国)の実績精度は以下のとおり。

漁業就業動向調査 実績精度一覧

単位: %

	漁業就業者数計(全国)
平成21年	1.3
平成22年	1.0
平成23年	1.0
平成24年	1.1
平成26年	1.2

注: 漁業就業動向調査は、漁業就業者数を作成することを目的とした調査のため、漁業経営体数に関する実績精度は算出していない。

### ③ 水揚量の把握漏れや重複計上等を防止するために講じている措置

- 調査の準備段階で、漁業センサデータを元に調査方法ごとの調査対象名簿を整理し、経営体の重複や把握漏れがないようにした上で調査を実施。
- 水揚量については、多段階(農政局支局、農政局本局、農林水産省本省)で前年比や変動の要因等を確認し、より精度向上に努めているところ。

#### <答申>

諮問第306号の答申(平成18年3月10日)  
海面漁業生産統計調査の改正について  
(抜粋)

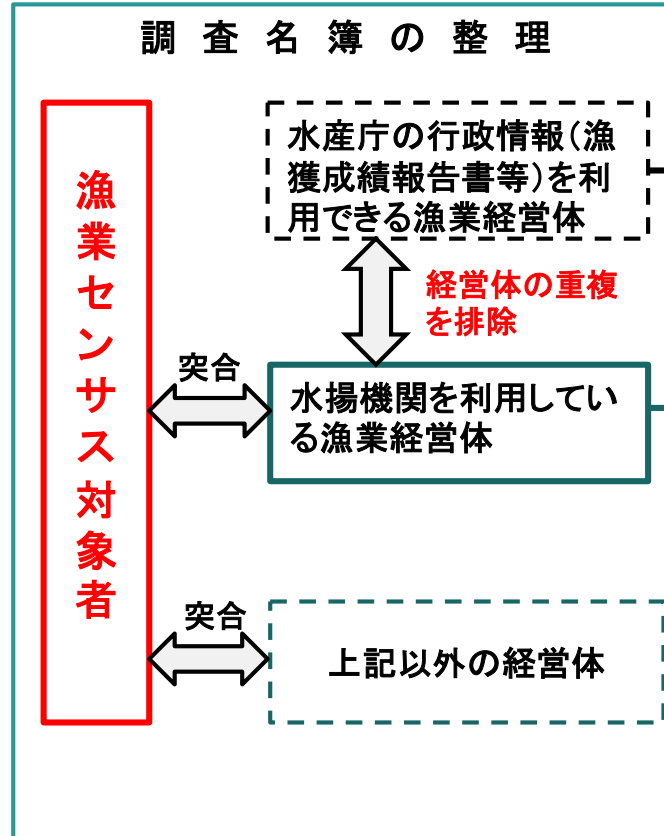
記

- 今回の調査計画
  - 調査方法
 

その際、水揚機関を利用する漁業経営体には、地元漁協の非組合員や地元外の者のほか、漁獲成績等報告書の報告者も含まれるため、水揚量の把握漏れや重複計上等がないよう、漁業センサの調査客体名簿の確認や調査票の審査等事務において適切な措置を講じる必要がある。

#### <調査の準備段階>

##### 調査名簿の整理



#### <調査実績>

